2/3年度の方向性

目的

各校におけるカリキュラム・ マネジメントの推進

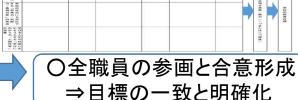
取 組

- (O)自校の課題の洗い出し (1)教科横断的な視点

- (2)PDCAによる評価と改善 (3)人的又は物的な体制

(O)自校の課題の洗い出し

・全教職員で子どもの実態を「9つのマトリク ス」等で具体的に整理し、課題を共有し、解 決に向けた「育成を目指す資質・能力」を焦 点化して設定



予定

1~2月

(1)教科横断的な視点

- ①「学校評価の4点セット」の重点目標等を 設定
- ②「生活科・総合的な学習の時間」を「涵養」 に位置付けカリマネ推進

①「育成を目指す資質・能力」を「習得・ 育成・涵養」の視点で具体的に設定

②各学年の「探究課題」に係る「各教科 内容」や「資質・能力」との関連を確認

2~3月

「育成を目指す資質・能力」を「教育課程に編成」

- ①個々(担任・教科・養教・事務等)が参画し 「学校のパフォーマンスの最大化」
- ②9年間を見通した児童・生徒の育成を意識 した小中連携の促進

4~3月

4月

1~2月

学校の目的=個人の目的、小中の目的

①「学校の応援団」から子どもの「資質・ 能力」に焦点化し、「実践的に参画」し ていく意識転換

2~3月

(3)人的又は物的な体制

(別添資料P5)

ロックで共有

(2)PDCAによる評価と改善

①学校経営案と学級経営案の連動

②「育成を目指す資質・能力」を中学校ブ

①観点Ⅳ「学校・家庭・地域の目標協働達 成 |を4点セット(育成を目指す資質・能力) で推進

「育成を目指す資質・能力」を中心とした『熟議』

内 容